

宮城県環境アドバイザー会議の開催

平成30年1月18(木)に第4回宮城県環境アドバイザー会議を開催しました。

今年度4回開催した現地検討会(6河川・10海岸)において環境アドバイザーからいただいた環境配慮の取組に関する指導・助言・その後の対応、および今年度実施した河川海岸環境調査結果等について、出席いただいた9名のアドバイザーに説明・報告し、意見をいただきました。

アドバイザー会議の様子



アドバイザーからの意見(指導・助言)

- 工事箇所の砂及び水が非常に大切なものであると認識した環境配慮の取組みが行われているので、今後も引き続きお願いします。
- 河口部に堆積している砂を取り置きし、護岸に覆土として利用する等の検討を行っていただきたい。
- 地元の方たちが自分たちの故郷を自分たちの手で回復していこうとする活動があちこちで湧き上がっていると聞いている。行政もそういった活動と連携していると思うが、地元活動と関わりを持ち、将来の自然とふれあいの場を創出を意識したデザイン作業をお願いしたい。

今後について

県内の復旧・復興工事箇所の自然環境については、想定を上回る早さで回復していることが報告されています。その中で復旧・復興工事も一定程度進み、各工事箇所で実施してきた環境保全の取組についても一定の効果が確認されております。

今後も環境アドバイザー会議や現地検討会、河川海岸環境調査を継続し、環境アドバイザーの指導・助言をいただきながら、自然環境と共存した復旧・復興工事に努めて参ります。